

1. 単元名 「身近なことを考えよう ～ゴミの分別について考える～」

2. 単元目標

- ・なぜゴミが分別されているのかを理解し、どのようなものが資源になるかを知ること、正しく分別をすることができる。資源として再利用できるものがどのようなものになるかを理解し、きちんと分別をすることが循環型社会の実現の一助となることを理解できるようになる。(知識及び技能)
- ・処理場で働く人の立場になることで処理場の課題を見だし、消費者側としてどのような取り組みが必要なのかを考察することができる。またそのことを文章やポスター、SNSなどで表現し、重要性を周囲に伝えることができる。(思考力・判断力・表現力)
- ・持続可能な社会及び循環型社会を実現するために、学校の地域はもちろん、地元の地域でも自分たちができることを考察し、取り組むことができる。(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、総合的な探究の時間の一環として取り組むこととして扱うため、学校独自の教材を活用する。その教材は、ただゴミ処理の現状を伝えるだけではなく、課題となっていることも伝える。これを踏まえて、それに携わる人たちの思いやその立場になって考えさせることが可能になり、生徒自身が自分たちにできることが何なのか、どんなことなら行動に移せるか、など具体的なアクションプランを立案、実行に移すことが期待できる。

(2) 生徒観

小学校4年生のときに、一度ごみ処理については学んでいるが、高校生という観点はもちろんのこと、地域性の違いも学べることが期待できる。つまり、学校周辺の中野区域のゴミ処理だけではなく、生徒各自の住んでいる地域のゴミ処理と比較することで、その違いがどんなことに繋がるのか、またその理由を考えさせることができる。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず学校独自で作成したスライドを使ってごみ処理の現状を伝える。さらにゴミ処理場の現場で抱えている課題や、地域に処理場があるかどうかの問題も提示する。その上で自分たちのゴミ処理のときの意識確認も行う。

考えさせる項目は「自分が問題だと思う課題の内容」、「その課題の解決策」の2つ。まずは個人ワークを行い、生徒個人の考えや意見を出させる。その上で4人程度のグループワークを行い、それぞれの意見を言い合い、グループとしての意見や意見をまとめさせる。こうすることで、自分たちが普段意識をしていなかったことに気付かせる。この過程で、生徒がグループで意見を共有することで、生徒に多角的な視野や考えを持たせることが期待できる。さらに自分の意見を的確に伝える表現力が身に付くことはもちろんのこと、クリティカルシンキングやシステムシンキングが身に付くことが期待できる。また、自分たちには何ができるかを明確にし、具体的に自分たちが取り組める項目を考えさせ、実行に移させる。

具体案を実行に移し、その取り組みについて後日振り返りを行う。その振り返りのために、各段階ごとに記録をさせる。実行前の「想定していたこと」、実行後の「取り組んでみて気づいたこと」と「想定とのギャップ」を

それぞれ記録し、振り返りの授業で活用する。特に「想定とのギャップ」は重要なポイントとなる。このギャップを理解し、今後の学びに反映させていくことが、生徒の学びの主体性の向上に繋がっていく。

#### (4) ESD との関連

##### ・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

多様性…自分たちだけの地域でなく、色々な地域や人も関わっていくことを再認識できる。

相互性…地域同士の繋がりや、そもそも資源の循環を意識できる。

有限性…処理によって資源となるものも有限であり、消費者側である自分たちがどう取り組むかで循環できる量も変わってくる。

連携性…地域同士の連携が必須な取り組みであり、消費者としても処理への意識を高くし、他者との連携をすることが必要である。

責任性…正しく処理をすることで、資源やエネルギーを次の世代へどう繋げるかの責任を意識できる。

##### ・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

###### ○「システムシンキング」及び「未来像を予測して計画を立てる力」

ゴミ処理問題を消費者側の立場として捉えるのではなく、そこで働く人たちのことなども含め、社会全体から総合的に判断して、未来も視野に入れて、どう取り組んでいけばよいかを考えさせることができる。

###### ○「コミュニケーションを行う力」及び「他者と協力する態度」

社会全体の問題に関わることなので、他者との協力は必須。その協力のためにコミュニケーションを図り、互いに暮らしやすい環境づくりをしていくことを考えさせることができる。

###### ○「つながりを尊重する態度」及び「進んで参加する態度」

互いの地域とのつながりや協力が必要となり、互いのために自分に何ができるかを考え、意欲的に関わろうとする姿勢が身に付くことができる。

##### ・本学習で変容を促す ESD の価値観

###### ○「世代間の公正を意識できる」及び「世代内の公正を意識できる」

自分たちだけではなく、幼い子どもから高齢者までが関わることなので、全世代の取り組みとして捉える必要がある。またそのためにも、次世代を担う自分たちが、今何ができるかを考える意識が身に付く。

##### ・達成が期待される SDGs

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに | 12. つくる責任 つかう責任       |
| 8. 働きがいも経済成長も          | 13. 気候変動に具体的な対策を      |
| 11. 住み続けられるまちづくりを      | 17. パートナリシップで目標を達成しよう |

#### 4. 単元の評価規準

(ア) 知識・技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
①ゴミ処理における分別についての基本的な知識について理解している。	①資料をもとに課題を見だし、その課題についてどう解決するかの方策を考えている。	①自分だけではなく、様々な人々が生活する上で関わるという意識をもち、意欲的に関わろうとしている。
②地域性やリサイクルに関する知識を用いて、スライドを使って関係性をまとめる技能が身に付いている。	②ゴミ処理について学んだことや考えたことを、スライドを使って表現・説明をしている。	②ゴミ処理について学んだことや考えたことを、第三者にも理解できるように発信しようとしている。

5. 単元の指導計画（全4時間）

学習活動	学習への支援	評価・備考
<p>1. 中野区のゴミ処理の分別方法と、生徒それぞれの地元の分別方法の違いを知る。</p>	<p>○それぞれの分別についての違いを比較し、なぜ違いがあるのかを理解させる。</p>	<p>ア①（知識・技能）</p>
<p>2. ゴミ処理場の問題や、処理場の地域的な問題を、スライドを使って提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分別をすることで、処理場で働く人がどうなるのか。</li> <li>・分別をすることで、処理の効率がどう変化するのか。</li> <li>・自分の地域にゴミ処理場があるのか、またなければどうしているのか。</li> <li>・リサイクル資源はどのようなものがあるのか。特にプラスチックごみはどのように処分されているのか（リサイクルか輸出か等）。</li> </ul>	<p>○これらの問題に対し、消費者側である自分たちに何ができるかを考えさせるようにする。</p> <p>○最初に個人ワークで考えさせ、意見や考えの出にくい生徒に対しては、助言を行うようにする。</p> <p>○次にグループワークで考えさせ、自分たちの意見をまとめさせる。このときも教師は円滑にグループワークが行われるように、随時助言などを行っていくようにする。</p>	<p>イ①（思考力・判断力・表現力）</p> <p>ウ①（主体的）</p>
<p>3. グループで発表を行う。</p> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">発表スライドの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ全員で発表を行う。</li> <li>・必ず自分たちの意見を添える。</li> </ul>	<p>○発表に対し、褒めて評価するところだけではなく、足りないところを指摘し、この後の活動に活かせるようにさせる。</p> <p>○実現が可能なのかも指摘するようにする。</p>	<p>イ②（思考力・判断力・表現力）</p>
<p>4. 実際にグループ出た活動案を実行に移す。</p> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">活動成果の発表スライドの作成</p>	<p>○活動をするにあたり、円滑にできるように助言を行うようにする。</p> <p>○調べたことや参考資料のデータの収集や分析などの助言を行う。</p> <p>○スライドをどう作成すれば分かりやすいかなどの助言を行うようにする。</p> <p>○SNSも活用できるように促す。</p>	<p>ア②（知識・技能）</p>
<p>5. 活動の振り返りを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分別に対して処理をする人や処理の効率まで考えてほしい。</li> <li>・気候変動などの、これからの未来のことまで考えてほしい。</li> <li>・脱炭素社会において、どのような行動が求められているかを考えさせる。</li> </ul>	<p>○上手くデータをまとめ、スライドで表現できるようにする。</p> <p>○特にこの活動を行う前と、後とのギャップを伝えるようにする。</p> <p>○今回の学びで得たことや成果を、継続できるようにさせる。</p> <p>○この学びを通して、どう行動変容をするのかを考えさせる。</p>	<p>イ②（思考力・判断力・表現力）</p> <p>ウ②（主体的）</p> <p>※ルーブリック評価を作成し。その基準に基づいて評価をする。</p>